ニューヨーク補習授業校だより

平成２７年度第５号
校　長　青木　正彦

まほうの　バンダナ



★用意するもの　　宿題　　バンダナ　　目覚まし時計

1. バンダナに向かって声を出して言いましょう。
「漢字の宿題やります！30分！」
2. バンダナを頭に巻きます。
3. 目覚まし時計を、30分後に鳴るようにセットします。
4. 宿題を始める時に、「宿題やるぞーっ！」と声に出して言います。
（このとき、ガッツポーズを取ると、まほうの効き目が強くなります。）
5. 目覚ましが鳴る前に、宿題を終えたら、バンダナをはずし、時計のセットもはずします。
目覚ましが鳴った時、宿題が終わっていなくても、バンダナをはずします。後はまほうの力ではなく、自力で何とか頑張りましょう。

★注意

初めて使う時は、そのバンダナの効果に感動します。しかし、だからといって、頻繁に使ってはなりません。最初の頃は、1週間に1回を限度とします。また目覚まし時計の時間も、1時間位が限界でしょう。それ以上は、バンダナをはずし、自分の力で何とか終わるところまで、頑張りましょう。

★カスタマーレビュー

小学生の頃だったと思う。父が頭にハチマキをしながら、エンピツ片手に、考えているところの写真を見た。父の働いているところの写真は他に一枚もない。暑そうな部屋で、頭に巻いてある白いハチマキが、やけに印象的だった。

宿題以外に、初めて自分から問題集を買って勉強したのは、中学2年の夏だった。問題集を買った時は、やる気満々だったが、なかなか始められないでいた。ある日、突然、父のハチマキ姿を思い出した。父もやらなければならない時は、きっと一心にやったに違いない。でも、あの父でさえ、ハチマキは必要だったのだ。ハチマキさえあれば、私だって・・・。

中2の夏は、私の人生の分岐点だったように思う。意志の弱い自分を、やる気満々にさせてくれたのは、まほうのハチマキだった。それからいつしか、ハチマキでなくても、バンダナでも、同じ効果があることがわかった。さらに大事なことは、やることを口に出して言う、時間を区切る、ということだった。今はハチマキよりもバンダナの方が手に入りやすいかもしれない。いずれにしろ、まほうの効果は、全く変わらない。お試しあれ。あなたの人生が変わっていく・・・。

（あおきまさひこ）

※　補習校だよりバックナンバーは、HPでご覧になれます。